

2019～2020 トピックス

■ 特殊詐欺被害未然防止で警察署から表彰

特殊詐欺被害を未然に防いだとして、岩沼支店職員が岩沼警察署から表彰を受けました。今後も窓口での声掛けを通じて、お客様の預金保護に努めてまいります。



■ 企業家交流会

2019年7月19日にウェスティンホテル仙台にて第5回企業家交流会を開催し82社のお取引先企業にご参加いただきました。講演会では、経済ジャーナリストの渋谷和宏氏を講師に招き、成長する企業の経営者像についてご講話をいただきました。また、懇親会では活発な異業種交流が行われました。



参加企業様の商品(写真右)

■ ビジネスマッチ東北2019

第14回目となる東北最大級のビジネス展示・商談会が夢メッセみやぎで開催されました。開催イベントを通じてお客様の販路開拓の支援に努めております。



■ せんなん経営塾

せんなん経営塾は、若手経営者の“経営力の向上”を目指して活動しています。2019年度は専門的な知見を持つ外部機関から講師を招き、全5回の講義を開催しました。



■ 清掃活動

毎年、春と秋の2回、白石市の沢端川川干し清掃作業に参加しています。
 この他、信用金庫の日(6月15日)の全店統一活動として、店周及び隣地の清掃活動を実施しています。



沢端川川干し清掃作業

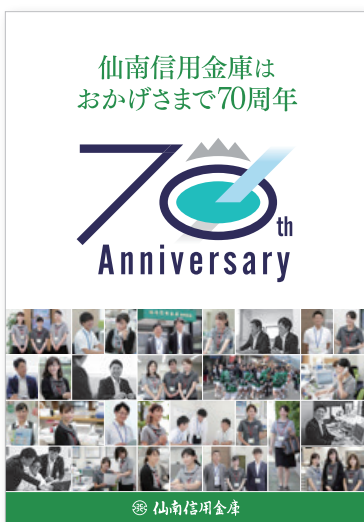


信用金庫の日の清掃活動

■ 創立70周年記念事業

当金庫は、2020年6月5日に創立70周年を迎えました。この節目の年にあたり、金庫では様々な記念事業を行っておりますので一部をご紹介します。「定期預金金利の上乗せキャンペーン」を通期で実施している他、創立記念日にあたる6月5日に「記念ロゴ入りボックスティッシュ」、6月15日にも「記念ロゴ入り一口菓子(羊羹)」をご来店いただいたお客様全員へお配りいたしました。その他、地域向け事業として「児童養護施設への寄附」等も行う予定です。

金融機関を取り巻く経営環境は、年々厳しさを増していますが、70周年から10年後、更にそれ以降も地域のお客様から頼りにされる仙南信用金庫であり続けるように、努力してまいります。



■ 地域の青少年・子供達のために (教育支援)

● 一般財団法人仙南信用金庫育英会の運営 (奨学金の支給)

創立60周年の記念事業として始めた大学進学者への奨学金制度が2020年度で10年目に入り、県南地域の県立高校卒業生、延べ62名の学生に奨学金を支給をしています。奨学生には大学進学後の4年間、返済義務がない「給付型奨学金」を月額15千円～20千円支給しています。



当金庫渡邊理事長から白石高等学校脇坂校長(右)に「奨学生内定通知書」を手渡しました。



当金庫渡邊理事長から角田高等学校鈴木校長(右)に「奨学生内定通知書」を手渡しました。

● 第21回少年野球大会の主催



開会式

毎年夏に「仙南信用金庫理事長旗争奪少年野球大会」を開催しています。2019年度は仙南地区の3市5町から17チームが参加し、村田町の「沼辺少年野球クラブ」が優勝を飾りました。



理事長による始球式

● 社会人としてのマナー講座

白石中学校の第2学年生を対象に「社会人としてのマナー講座」を開催しました。受講された生徒の皆さんからは、「普段の学校生活や将来に大変役立つ講義でした」等の声をいただきました。



● お金の教室 (金融教育出前授業) の開催

毎年、地域の子供達に「お金の大切さ」等を理解してもらうため「仙南信用金庫お金の教室」を開催しています。昨年は白石第一小学校、白石第二小学校、福岡小学校、七ヶ宿小学校の4校で実施しました。



白石第一小学校



白石第二小学校



福岡小学校



七ヶ宿小学校

■ 仙南ひまわり会活動

● 仙南ひまわり会講演会

元プロ野球選手の村田兆治氏を講師に招き「演題:人生先発完投 限りなき挑戦」と題して講演会をしんきんホールで開催し、140名余りのお客様がご来場されました。今回初めて手話通訳を付けての講演でしたが、講師と通訳者の掛け合いも良く、会場を盛り上げました。



2019年11月しんきんホール

● ひまわり会移動総会

当金庫の各営業店に法人・個人事業者の方で構成する「ひまわり会」があります。会員の方々には総会、旅行会、講演会等への参加を通じて、会員相互の親睦や異業種交流を深めていただいております。



本店営業部ひまわり会移動総会

■ 落語の集い

当金庫で公的年金を受け取られているお客様を対象として、林家正蔵一座による落語会を2019年10月に白石市の「ホワイトキューブ」で開催しました。当日は400名余りのお客様が来場され、2時間に及ぶ口演中、場内は笑いの渦に包まれました。



■ しんきんホールの活用

当金庫では、本店3階に設けている多目的ホール「しんきんホール」にて、金庫主催・共催のイベントを実施しているほか、広く地域の皆様にご利用いただいております。



白石高等学校マンドリン部定期演奏会



せんなん寺子屋学習室

地域密着型金融の推進

「地域密着型金融」とは、「お客様との親密で長い付き合いのなかで蓄積してきた情報を基に行う金融取引」のことです。協同組織金融機関である当金庫は、その活動の全てが「地域密着型金融」と考えています。

1. 基本的考え方

当金庫では、「地域とともに生きていく」をスローガンに地域経済の発展に貢献していくことを経営の基本とし、地域のお客様から預金としてお預かりした資金を地元へ還元できるよう積極的に融資取引の拡大をはかり、地域の中小企業や個人のお客様の資金ニーズにお応えしてまいります。

2. 具体的な取組み

- 営業店と本部専門部署並びに外部専門機関が連携し、お客様の経営改善のお手伝いをしています。
- 不動産担保や個人保証に過度に依存しない融資手法の導入に取り組んでいます。
- 営業活動を通じた融資相談・融資提案を行い地域経済に貢献するため、外部研修に職員を派遣する等、人材の育成と職員のスキルアップをはかっています。
- 「ビジネスマッチ東北2019」や「2019“よい仕事おこしフェア”」に参画し、お取引先企業の販路拡大をはかるとともに、地域の産業の振興をはかっています。
- 地方公共団体に対する資金の貸付、公金預金の受け入れ、地方債の引受等の取引を通じて地域の発展に貢献していきます。

3. 定量的な取組み実績 (2019年4月1日～2020年3月31日)

● 経営改善支援等

		(単位：先数)					(単位：%)		
		期初 債務者数	うち 経営改善支援 取組み先数	aのうち 期末に債務者 区分がランク アップした先数	aのうち 期末に債務者 区分が変化し なかった先数	aのうち 再生計画を 策定している 全ての先数	経営改善支援 取組み率	ランク アップ率	再生計画 策定率
		A	a	β	γ	δ	a/A	β/a	δ/a
正	常 先 ①	1,481	0	/	0	0	0.0%	/	—
要 注 意 先	うちその他要注意先 ②	574	13	2	10	6	2.3%	15.4%	46.2%
	うち要管理先 ③	2	0	0	0	0	0.0%	—	—
	破綻懸念先 ④	70	8	0	7	7	11.4%	0.0%	87.5%
	実質破綻先 ⑤	28	0	0	0	0	0.0%	—	—
	破綻先 ⑥	7	0	0	0	0	0.0%	—	—
	小計 (②～⑥の計)	681	21	2	17	13	3.1%	9.5%	61.9%
	合計	2,162	21	2	17	13	1.0%	9.5%	61.9%

- 創業計画の策定支援先(不動産賃貸業を除く).....9先数
- 創業期のお取引先への融資実績756百万円
- 担保・保証に過度に依存しない融資実績
 動産・債権譲渡担保融資..... 3件 105百万円

